磐城毎日

社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市南町
株式會社　磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人　遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

阿部氏舌端戰皮切り

濱通り亂立、苦戰を豫想

低調を極めた縣教育委員選擧戰は中盤戰に入り少しく活況を呈するに至つたが廿二日現在の立候補者は氏家義之氏（社會黨現）

教委候補

安藤武氏（自由黨現）阿部信義氏（自由黨新）古張信一氏（自由黨新）綠川以夫氏（共產黨新）日野定利氏（共產黨新）の六名で定員の倍の出馬を見るに至り相當の激戰を豫想されるに至つた、濱通り地區では社會黨公認の氏家候補（中村町）自由黨公認の阿部候補（原町）共產黨國際派の日野候補（內郷町）の三氏で中立の成瀨巴三氏（植田町）の出馬は未定で若し成瀨氏が立候補すれば濱通地區は一層の混戰を演じられるものと見られるが阿部信義候補は逸早く石城地區戰陣を張り廿一日には小型トラックで勿來町を振り出しに舊菊田地區の街頭演說を行い同日湯本町に一泊廿二日には小名濱、江名、豊間、高久、夏井の各町村を一巡し正午過ぎ平市內に車を進め各所で街頭演說を行い草野、大浦、四倉等國道筋の町村の遊說を終り同日夕刻双葉郡下に入つたが當地方における教委戰の演說の皮切りとして一般の注目を惹いた

整理通告を受諾

不服三名には解雇通知

二十五名の整理通告をした古河好間炭鑛では二十一日の期限內に二十二名が一應退職手當其の他に不服を申入れたが接涉の後受理殘る三名は整理の該當事實なしと强硬態度に出ているので會社側では右三名に對しては規定方針通り十八日に逆つて解雇通告を行つた、同鑛勞組では廿三日午前十時から會社側と團体交涉を行つているが三名の解雇通告に對しては團交の後に態度を明にすると語つている

共立病院組合認可

十一月一日開院と決定した磐城共立病院組合認可申請は既報の如く縣知事宛提出中の處廿一日附認可されたので病院の運營は地方自治法により決議機關と執行機關の二本建で行われる譯けであるが、決議機關である病院組合議員選擧は一兩日中に告示を行い三十日に各市町村每に一名宛の議員を選出する事となつた、議員選擧は一般投票によらず各市町村議會議員の互選によつて選出される

郡下募金85%

平市に於る共同募金の成績は廿二日第三小校生の街頭進出で一万一千六百九十六円の募金を行い戸別では廿一日に古研町が八千六百七十四円、廿三日神谷支所二万三千六百円、飯野支所二万二千四百円の割當突破をし廿三日現在で總計四十七万五千五百三円に達した、郡下では草野村、小川、豊間、渡邊、赤井、川前の六地區が割當を達成しこれで達成地區は十一ヶ町村となつた、募金成績は二十一日現在で一百五十三万六千四百六十六円で割當目標高の八十五%である

感謝藝能祭

鎌田保育所で

平市では國際連合デーにちなんで昨年十二月以降ユニセフから數回に亘つて被保護世帶の兒童二百五十名に給されたことに感謝し廿四日母子寮生を鎌田保育所に會合してユニセフ代表に感謝狀を送りあわせて藝能祭を開く、なお各家庭からは繪畫作文を募集し一括して代表に送る事になつた

親子組窃盗犯擧る

札付き好江村民に騷れ

廿一日午後九時頃久ノ濱町大字末續農業鈴木三代春さん宅に賊浸入、白米一升を窃取された事件につき地元消防團が出動、町署員に協力、犯人久ノ濱町仲町三六無職安島よし江（三八）次男明也（二五）仮名の親子が猪狩部長に檢擧された

よし江親子は窃盜常習犯で昨年夏は町內に幽靈が每夜某家に現れると騷ぎ立てそのどさくさに搔拂いを働いていた札付き者明也も親仕込みの窃盜常習で橋本卯三郎氏經營竹輪工場から竹輪を盜んだ事もあり當夜は村に映畫會があり農民の隙を狙つての犯行で余罪ある見込

〃〃〃〃〃 村議團縣會視察

上、下小川組合村會議員一同は廿四日午前六時發列車で開會中の縣會傍聽のため出發した

私の新聞觀

平工高ＰＴＡ　井出敏郎

諸新聞をどれと云つて區別するまでもなく我々日常生活に大なる貢献をしている良い事ばかりではなく惡い事も、何故なら現今の新聞が我々の大部分からその取材するニュースを信用されているからである。信用されている新聞が若しも間違つた報道をしたら我々は批判してその取材された報道を排斥するだろうか?、いやいや我々は無批判にそれが正しいものとして受け入れてしまうことと思う。だから我々に信用されていると思われる新聞が持つ、社會的な役目と責任は誠に大きなものがある

新聞週間は十月一日から「新聞は民主社會の安全保障」をモットーとして行われたが、果して諸新聞がこれを實行しているであろうか?、そこで私はいま私の机の上にある毎日、朝日、讀賣の三大新聞、福島民報民友の二紙といわき民報、磐城毎日の七紙を批評して見ようと思う

先ず最初は三大紙から述べることにする「下山事件」で毎日は「自殺」を報じたに反し朝日、讀賣は筆をそろえて他殺の報道したが、結果は「自殺」で朝日、讀賣の黑星「三鷹事件」では三紙とも仲良く共同正犯一本ヤリで報道したが、結果は單獨犯行で三紙とも大黑星をいただいた、又耳新しい所では朝日の伊藤律氏との會見という全くウソなニュース興味本位にデッチ上げたことである、その他は私の研究している範圍では公正な報道をしている

福島民報及び福島民友は正確な報道をしている、然し內容が余りにも福島市中心と云う感が强い、例えば福島市附近の事件と平市附近の事件が同じようなものであつたとしたら前者を大きく取材し、後者を小さく甚だしきは取材しない場合がある、要するに取材場所が片方に寄り過ぎる嫌いがある、終りにローカル紙である、いわき民報は公正中立な報道をしているように見せてはいるが、その實自由黨の機關紙の如き感を讀者に抱かせているのはその取材內容から推して致し方があるまい、又デッチ上げる記事も應々見受ける、一例を示すと昨年のこと某校の雨天体操場が完成されたと報じたが、何んのことはない、當の某校では寢耳に水だと語り續けて本校では体操場を作ろうと云う考えは少しもなくこの樣なインチキな報道をされては有難迷惑だと私に洩していた

次ぎは磐城毎日、此の新聞はローカル新聞にふさわしく小さなニュースや讀者からのニュースをのせていることは讀者にしたしみ深い感を與える、中でもこの紙の强みとする所は我々をだますと云う、無責任な報道をしていないと云うことである、この强みが今後發展性のある新聞の形ではないかと思う、何れにしても地方紙としての眞髓を發揮してもらひたいものである

土木建築設計請負
磐城土建工業株式會社
社長　强口唯七郎
平市小太郎町
電話五九・六二・一〇四番

湯本舗装工事近く開始

國道六号線湯本町のアスハルト・コンクリート補裝は同所から常磐炭鑛地帶を通する重要輸送路であり一般からも强く要望されているが愈々着工の運びとなり關係者を喜ばしている、アスハルト補裝は湯本鑛業所前踏切から湯本驛に至る一千五百米コンクリートは同礦業所前踏切以北約一千米で總工費約五百万円、完成は來春三月末の見込

『議會政治の否認だ』

水道案反對に市民激憤

平市の鎌田山上水道施設に對して舊憲政會の平地區の幹部であつた萩原義雄氏外十一氏の連名で「平市民各位に告ぐ」と題する印刷物を各戸に配布し或はいわき民報紙上に掲載し反對運動を展開しているが鈴木市政に對する反對せんがための反對であるとして實情を知る市民からは顰蹙を買つているのみならず鎌田山上水道は鈴木市長一個人の立案で計畫されたものではなく市議會に於て滿場一致で議決して着工の運びとなつたもので斯る行爲は議會政治を否認する非民主々義も甚だしいとの聲も高まり若し平市議會がこれを默過する場合は市民有志によつて反對運動に對する對抗策を講ずるとの氣構濃厚となつて來て居り、上水道問題を廻り相當の紛糾を見るものと豫想されるに至つた

花園神社祭例

草野村大字下神谷鎭座の愛宕花園神社の祭例は廿三、四の兩日執行する、余興は草野青年團による映畫觀賞會などである

大和教鈴木送檢

狠狽した本部內容調査

大和教平支團鈴木英司（三五）は昨廿二日朝脅迫並に藥事法違反の疑で送檢された、同本部の幹部高橋伸典氏は昨夕東京より來市、今廿三日檢事局を訪づれ大和教の概略を說明、被疑者鈴木に面會今回の事件を良い試練とする樣說得、信者に對しては近日中同教を一般市民に公開したい旨語つた

好間青年學級

蓮沼氏講演

廿二日午後七時三十分より好間第二小講堂に青年學級を開いた、蓮沼縣會議長を講師に時局と縣政を講演終つて質疑應答、茶話會に入り午後十時散會した、聽講者二百余名

災害復舊促進

赤井村陳情

赤井村長吉田万吉氏外村議六名は小兒玉川水害による災害復舊工事促進運動のため近く出縣定例縣會に陳情を行うことになつた

酒倉破らる

平市研町十番地酒類販賣業尾島廉輔氏宅では昨廿二日午前九時から廿三日午前六時三十分迄の間に酒倉庫內から清酒（二級一升びん詰）約十本、六千四百五十円相當を盜まれた

商狀・經濟欄

【鮮魚】二十四日現在　卸値（單位貫）

かつを	四〇〇—三八〇円
ひらめ	六〇〇—五五〇円
小ひらめ	四五〇—四〇〇円
かれひ	三〇〇—二五〇円
かながしら	二五〇—二〇〇円
やなぎ	四〇〇円
むし	四〇〇円
まこ	三五〇円
さんま	一八〇—一五〇円
いか	一〇〇円
いわし	二〇〇円
さつまあげ	二八〇円

市況—保合

【青果市況】丸サ市場

なす	四五—二〇円
きうり	二五〇円
ねぎ（小束）	一〇—六円
玉ぬぎ	六〇—四〇円
ごぼう	一一〇—八〇円
人參	一五〇—一〇〇円
大根	三〇—一〇円
菜類（一把）	三—二円
ほうれん草（小束）	八—三円
里いも	六〇—三五円
さつまいも	四五—三〇円
やまといも	二〇〇—一〇〇円
松茸	一〇〇〇—八〇〇円
なし	一一〇—五〇円
柿	二〇〇—一〇〇円
りんご（四貫入）	一〇〇〇—六〇〇円

市況—活潑

【株式市況】23日　磐城證券前場

一、二円上下の無氣力相場にて賣買共に手が出ないと云ふ處今日此の頃は「カンコ鳥も鳴けない有樣」とは此の町の人のなげき

又「早く金が出來れば何とか相場も出るだらうに」と區々のなげきも出て來る有樣出來高も前場六〇万株と誠に少ない

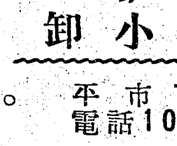
鋼管	七〇	呉羽化	—
東洋紡	二〇八	苫小牧	一七三
鐘紡	一三六	十條紙	一八五
日清紡	二九五	本州紙	一三七
呉羽紡	一三七	日セメ	八二
日東紡	一二〇	磐城セ	一六七
片倉	六三	小野田	一三五
帝人	一六八	不動新	三三九
東洋レ	一二三	陽和不	一〇七
新光レ	三四七	開東不	一七三
山パル	一八五	三越	三九七
東海上	二〇九	日麦酒	一九〇
新郵船	一七四	朝麥酒	一九〇
三井船	一三九	キリン	二〇五
日發	三三・五	寶酒造	一三八
三井山	四八・五	野田醤	一七四
日石	七四	豊年油	一〇五
三井造	一六〇	高壓	四八・五
日立	三四	日産化	五五
東北パ	二〇六	日活	一四〇

小名濱魚市場

二十二日現在

平め	七〇〇貫
はも	一八〇〃
たこ	一三〇〃
まこ	四〇〇〃
むし	二〇〇〃
ふだ	五〇〃
やなぎ	一五〇〃
大やなぎ	四〇〇〃

以上であつて愈々サンマ南下を初め小名濱沖操作が目前に迫つて來た、只月齡十三日を示して居るので茲暫く見守るよう外はないと云う爲めサンマ船は歸港を初めた



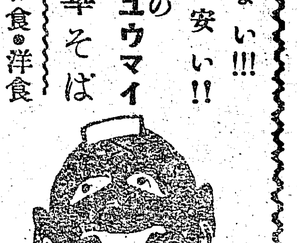
◇鶏肉　鶏卵◇
卸小賣問屋
◦◦◦多少に拘らず
御用命下さい◦◦◦
平市南町
電話1019番
鳥牛

秋田杉原木
大量入荷致しました
㊀丸一材木店
工場　禰宜町　電五五六
自宅　五丁目　電二九〇番

くすり
今日も元気で
電四〇
平四
関内薬局

新らしいミルクプラント
いつも新らしい良い牛乳
川角の牛乳
平市下平窪　川角牛乳店

外科
泌尿器科
性病科
眞木醫院
平市南町（公會堂通）
電話一一九五番



うまい!!!
安い!!
好評のシュウマイ
中華そば
和食・洋食
三丁目
平会館
電六二四

改惡に非難の聲擧る

時刻を忘れた通勤列車

今月始め列車時刻の改正から常磐線原ノ町發上り列車＝平着八時五分＝と水戸發下り列車＝平着七時五十七分の二列車は改正以來定時着一回もなく何れも時刻を忘れた列車として三十分から四十分の遲着となつている、そのため通勤者や通學生は正規の時間に勤務も登校も出來ず改惡列車時刻であるとなして各方面から非難の的となつて居り、この不便を早くも察知したのは一般よりも鐵道現業員で北部通勤の鐵道從業の出退時間に支障を來すもの續出し內部からも早急改正の聲があがり、區間驛長會議では既にダイヤの一部變更を上申している、またこの二本の通勤列車は遲延せず定時に到着しても八時を經過しているので正規の時間に始業することは出來ず、不便も甚だしいので問題となつて居り、改正運動が開始されることになつた

改正運動はじむ

一千余名の學生が毎日遲刻登校では教育上からも規律上からも統制が紊れて居り放任して置けぬとあつて父兄間から早くも署名運動を開始した

通勤者敬遠

失業者も出そう

通勤者も月に一度や二度の遲刻は申譯もたつが毎日ではやれ切れない、一日も早く改正されなくては駄目だと語つて居るし、會社や商店側でも地元勤務者と通勤者とのまちまちな出勤振りではどうにもならぬ、こんなことが何時までも續く場合は通勤者を敬遠しなくてはならなくなると、時刻を忘れた列車のため失業者まで出る機運に逢着したので、いよいよ放つては置けなくなつている

ダイヤ改正の急

鐵道當局も認める

朝の通勤列車上下二本の時刻改正はどうしても實現しなくてはならないものがある然しダイヤの改正は運轉事務の上でも技術的に相當研究を要するので今すぐとはゆかないこんな不便な乘客を考慮に入れない編成をしたことは遠隔地通勤者を乘せる便宜を計算に入れたことにも歸因しているが沿線通勤者の立場を考慮の上早急改正することとなろうと語つている

電氣通信記念表彰式

第一回電氣通信記念式は本廿三日全國一齊に行れたが東北電通局でも午前十時より東北大講堂において記念式を行い、また功勞者表彰式を行つた、郡內關係者は次の通り△平電話局石井治郎△平電通管理所木村壽雄△湯本電報電話局原田安の三氏

小名浜通信

昔から火のないの所に煙は立たずと云うて居るから虚構であるとのみ考えられない、然し眞實でない事を祈るものである、最近本町の學校と許り限らないが、生徒も教官も餘りに修身誠意のだらしないのに第三者をアット思はせる事情が湧き出している、極く最近の噂だが某學校の教官が女給らしきものを泊めたとの事であるが、これが同じ泊めたと云うても女給輩なれば我慢も出來るが、教え兒であつたとせばどうなることであらう、それだから眞實でない事を祈ると共に轉ばぬ先の杖として各學校當局と各家庭の保護者に注意を喚起する

日本水素工場では年產六万屯の豫定は既に征服して七万屯の目標に邁進して居る是れが爲め會社員は各課共勇往邁進、目標突破に丹精をこらしているが玆二ケ月はその生產高日產二百五十屯月產七千五万屯、年產九十万屯の機能を發揮し容易に十万屯の年產が可能である事の見通しがついた爲に廿一日は目標突破の祝を擧行して景氣をつけている、この勢で進むとすると日素の生產力は天下無敵の折紙がつけらるゝ譯で、日素工場万才を連呼したくなる

×

大原部落の青年會館建設問題から敷地借入しようとする地主が煮えきらぬからと云うて實力行使に訴えて借すと云ふ返事の有無を待たずに血氣の勢で荷馬車十數臺で土盛作業を決行したと傳えられて居るが、嘘の様な本當の話である、所有者のある土地を借受けようとするなれば何としてもその承諾を乞うべきで、それをせずして實力行使にでたる事は時代錯誤を甚だしきもの殊に民主々義時代を謳歌する今日では封建的行動は唾棄すべきものである、所有者が時代を理解せずに來た、青年會館の意味を判らないとするなればそれは時代の流れに逆行する暗愚の人であるから靜かに啓蒙するより外に手がないであらう、強行手段は野蠻行爲である事を忘れてはならない尤と謹むべきであらう

小名濱港灣問題で明年度から船入に內防波堤が出來ると不可分の關係にある船溜船引場の造成が必要であるが、かんじんかなめの場所が江名町地內なので江名町の諒解を需むる事が誠に穩當であると云うのでその交渉となつたが、江名町の襟度が實に立派であつて船引場埋立は一日も早い方がよいと一も二もなく縣え陳情書に承認の調印をなして協力の誠を捧げた事は小名濱町三万町民は感謝してよからう

教員免許法の改正を懇請

教組石城支部では過般開かれた認定講習懇談會の結果教員免許法について一級、二級の區別を無くすよう改正を要望、民事部、文部大臣その他關係代議士に文書をもつて懇請することになつた

學校給食管理主任會議

廿一日午前九時より平一小において各校給食主任者會議を開いた、議題は「學校給食衛生管理の再强化」「食品衛生上の食品製造加工使用調理及び保存の基準」等について檢討した

無事故の表彰行う

對面交通一週年に當り

對面交通實施一週年を迎え十一月一日から全國一齊に第三回交通安全週間を行う國警縣本部、縣警察連協、縣交通安全協會ではこの週間中街頭宣傳、道路保全、事故絶滅等に重点をおいて實施するとゝに期間中無事故支部の表彰、學校安全隊の指導講演會及び兒童作品募集などを行う

魚類の行商容器調査

平保險所食品衛生課では廿四日午後一時から四時平市大工町丸公魚市場前で平、好間、高久、赤井、小川、川前、箕輪、澤渡、夏井の九地區鮮魚介類行商人用容器檢査を行う、同所管內の檢査の日程は廿五日內郷役場前、廿七日植田町市場、廿八日勿來町役場前、卅日小名濱町魚市場

―管理米報告協議會― 廿五日午前九時より食糧事務所平支所において調査關係事務打合せ會を開き廿六年米穀年度管理米台帳報告書作成、十一月一日主要食糧現在高、消費高報告書作成などについて協議する事になつた

自作圖画のコンクール

草野村小學校ではPTAと共催で廿五日の午後から二時間に亘つて三年生以上の圖書コンクールを行い先生も父兄も全然手をかさない生徒自身の眞の實力をためすことになつた、これは本縣で初めての試みである

秋季溫習會

平喜多稽古會では毎年春秋會員日頃の努力を發表して來たが、來る廿九日(日)午前九時から喜多流宗家伊藤千六氏を招き公會堂日本間において秋季溫習會を開く

ほど遠い麥の完納

不振の筆頭は江名町

麥の供出は依然として振わず關係者を泣かせているが十九日食糧事務所平支所事務處理で郡供出平均は五七%七、最高率は川前村の八一%八、次いで小名濱町の七三%七となつている、また最低率を示している町村は江名町の三八%五を筆頭に高久村＝四〇%五、錦町＝四四%一、渡邊村＝四七%九、草野村＝四九%二でこれら五ケ町村のみが五〇%を割らないだけである、これは玆一週間內にどつと供出されたもので地方事務所供麥督勵によるものと見られている、各町村の供出率は次の通り

町村名	供出率	町村名	供出率
泉	五九・五	渡邊	四七・九
植田	五四・七	山田	五六・四
錦	四四・一	勿來	六七・三
上遠野	五八・七	入遠野	六八・九
川部	五四・六	田人	五〇・二
夏井	五〇・〇	高久	四〇・五
豊間	六〇・五	江名	三八・五
鹿島	六三・五	小名濱	七三・七
磐崎	六六・三	湯本	五一・五
內郷	六七・九	好間	五四・七
赤井	六七・五	永戸箕輪	五四・四
澤渡			
三坂	五七・五	草野	四九・二
大浦	六〇・四	四倉	七〇・八
大野	六五・〇	小川	六七・三
川前	八一・八	平	五四・四
飯野	五八・四	神谷	五一・九
計	五七・七		

〃〃〃〃〃第二回文化講座

第二回文化講座は二十一日午前十時から平第二小學校で開かれた、演題は第一回講座後の希望を入れて一、道德教育(菅波第二小校長)二、純潔教育(市內新川町五十嵐醫師)

トラック大木に衝突

廿二日午前十時ころ平市鹽野地內の縣道で四倉町磐城貨物自動車運轉手諸橋忠二(三三)さんの車が前を走つていたトラックを追い越そうとして道路ぎはの大木に衝突大破助手山木憲助(二〇)さんは頭部と胸部に一ケ月の打撲傷を負つた

家屋侵水を救う

胡麻澤の改修着手

市內胡摩澤地內縣道小野新町平線は側溝の不完全のため降雨時には雨水が路面を流れ損傷し交通に支障をきたしているほか更に雨水の家屋侵入もまぬかれず衛生的にも捨ておけないと附近民からその早期改修を要望されていたが、このほど鈴木平市長から土木監督所あてその改修方を陳情されたが土木監督所でも現場からたまたま家屋侵水等の水害を受けている實情も認めており近く改修工事を着手することになつた

薫組へ優勝旗

小名濱野球協會主催の第一回優勝旗爭奪少年軟式野球大會は廿一、二日小名濱中グランドに行つた

△決勝戰

薫組2－0竹町組

市內職種別野球大會

野球連盟平支部主催第二回市內業者別軟式野球大會は廿九日午前八時より市營球場に開催する、申込は市大通り大塚運動具店え、參加料三百圓を添えて申込む事組合せは廿七日午後三時より同店で行う、なお第一回(昨年度)の優勝チームは衣料品組合であつた

關東女流浪界の王者
日本一
巴うの子
轟く名聲……輝く名調
獨創的餘興共斷然に!!
日時 十月二十五日夜六時
場所 平市公會堂
主催 日刊タイムス社
前賣券は當社にあり(百円)

宣傳車にふれ瀕死の重傷

廿二日午後一時半ころ仙台郵便局宣傳部から繰り出された移動郵便自動車運轉手大內一郎が石城郡湯本町八仙地內で宣傳走り出しの際ぶら下つていた同字鑛夫白井小次郎長男小吉(五)ちやんはふり落され車の下敷きとなり腹部兩足に瀕死の重傷を負つた

日卓杯爭奪卓球大會終る

磐城スポーツ連盟、磐城校長協議會中學校部主催日本卓球株式會社、大塚運動具店後援の第一回ニッタク杯爭奪卓球大會は廿二日午前九時から磐高講堂において行つた、決勝成績は次の通り

△中學校男子の部(チーム戰)
小名濱中A3－1錦中A
△中學校女子の部(同)
小名濱中3－0內郷二中
△高校男子の部(個人戰)
片寄(磐高)2－0大塚(平工)
△高校女子の部(同)
高橋(磐女)2－0柴田(磐女)
△一般男子の部(チーム戰)
常磐A3－2平クラブ
△一般女子の部(同)
常磐3－0平クラブ

公安室勝つ

平鐵道公安室チーム對赤井礦チームの親善野球大會は廿二日午後一時から赤井村日曹球場で行つた、十二對八のスコアで再び公安室に凱歌が擧つた

慶弔録

婚姻 廿日平市北目折笠直彦(二七)氏と平市北白土渡邊下二子(二九)さん△十七日內郷町大字宮渡邊義雄(二七)氏平市十五町目岡田信子(二三)さん

出生 十五日平市南町松崎一氏三女かよ子さん△二日同材木町渡部賢治氏三女せつ子さん△十七日同下平窪佐川義江氏長女和子さん

死亡 廿日平市四丁目伴功一(一)

廿三日晩は北よりの風一時雲間があるが良い天氣、廿四日は北よりの風時々雲間があるが良い天氣でこゝ二三日海上はおだやかでせう

JOCP
ローカル
郡山
JOHQ

【廿四日】後6時30分 河童の眼(7)郡山放送劇團 後7時30分 歌の花籠(14) 郡山市公民館より中繼司會小川アナ、ピオニ樂團他

1950年式
最新型高級
裁斷と裁縫
移る時代の新型
スマートな
洋服を造る店
洋服の新調なら着る身になつて親切をモットーに造る皆様の渡邊洋服店へ
御注文は電話九五七番へ早速見本を持つて御伺ひ致します
渡邊洋服店 紅小路 電957

おいしい
支那そばの
加工を始めました
加工料百匁に付四個【壹ヶ一円五十錢】
何卒御用命下さい
平製パン製めん部
電話二十一番

皮膚科
性病科
內科
平市縣社下
矢吹醫院
電話一九三
一二九五番

良い品は良い店で
御召物を引立てる
風呂敷
伊達止
羽織紐
帯揚
帯
半衿
御進物に御利用下さい
かみや 平市2 T256

勤勞者のみな様に福音!
待望の月賦サービス、セール部開設
中小商工業の發展と一般勤勞者の相互扶助を目的と致しまして當社內に月賦サービス、セール部を新設致しました
毎月僅かの掛金で皆様の生活必需品が當社月賦サービス、セール部加盟店よりお買ひ求めになられます
自轉車、ミシン、家具類、布團、時計、和洋服、生地洋品類、ラジオ、靴、其の他營業案內及詳細は御來社亦は御報下さい
平市三丁目三十七東平物產二階
東北街頭宣傳株式會社
月賦サービス、セール部
加盟店に御希望の商店は御來社下さい
◉營業部社員募集◉
學歷舊制中卒以上 若干名